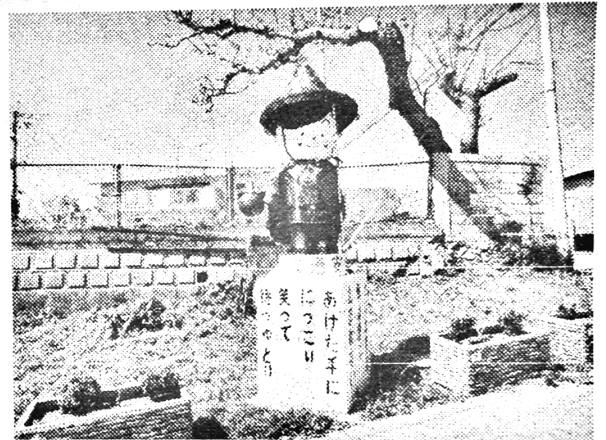


べたら話も弾みそうですね。最近人気があるのがカット野菜やカットサラダ、レディミールと呼ばれている真空パックの魚や肉が売れ行き好調だそうです。また、レジの後ろにあるコピー機が優れものです。マイナンバーカードがあれば、住民票や印鑑証明などが、役場に行かずに24時間取れます。それと公共料金の支払いもできちゃうんです。(つづく)

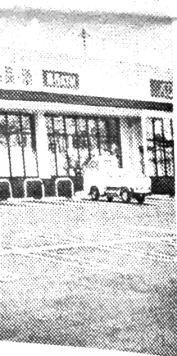
ソニー坊やとは何ぞや？(中編)

今回は現存する残りの坊やを紹介します。まず1人目は北から。名護の国道449号線を、海岸沿い本部へ向かうと、美ら海水族館は浦崎を左に曲がります。しかし、本部町謝花のソニー坊やは、曲がらずにそのまま真っ直ぐ進みます。すると県道505号沿いに800m位先の左側に立っています。



この本部のソニー坊やもいつからいるかわかりませんが、2015年から近くに住む大田武男(58)さんが可愛がっています。若い頃ペンキ職人だった太田さんは、はがれたペンキを塗り直し、文字も書きなおしました。また、ミシン作業の経験もあり、衣装や小物を手作りしています。4月にはランドセル姿、5月には兜をかぶせ、夏は虫取りやエイサーの衣装に太鼓を持たせ、10月のハロウィンには仮装をして、イベントごとに着せ替えます。クリスマスには区の企業2社の協力で、イルミネーションの備品を購入し、電気代も支払っているそうです。

2人目は、国道329号線うるま市栄野比交差点から、県道8号線を具志川向けに走ります。そして、右側にある川崎の米軍施設キャンプマクトリアスを過ぎると「安慶名闘牛場」左への道路



があります。
てのパンを食



標識が現れます。そのT字路の右側に、2頭の牛が闘っている3畳ぐらいの芸術作品があります。その左隣に、坊やは並んで立っています。ここの坊やの立っている土台には、具志川市役所と書いてありました。そこでペンキのはげた坊やを塗り直そうと市役所に許可をもらいました。そして、昨年5月2日から3日間かけて、紀々さん、本部の太田さん、豊見城在住の須藤さん夫妻で周りに生えている竹を切ったり、フェンスを直したりもしながらペンキを塗りました。

3人目は、宜野湾市野嵩の坊やです。国道58号線宜野湾市伊佐の交差点、普天間向けに登っていく坂の角下にソニー坊やはいました。しかし、道路拡張工事の為退かなければいけなくなりました。そこで、当時の普天間署交通課に勤務していた上地政一係長が、琉球交通さんに引き取ってもらえないかと要請した所、承諾してもらえました。ちょうどそのころ(1965年)琉球交通さんは新社屋が完成した時で、社内の記録に譲り受けた記録が残っているそうです。ちなみに琉球交通さんは、宜野湾市役所から普天間向けに400m位行った左側にあるタクシー会社です。その入り口に坊やは立っています。そして一昨年のクリスマス頃に、沖縄市在住の比嘉さんが1人で、この坊やを塗り直してくれました。

そして最後の4人目は、糸満市の名城ビーチ内にあった海水プールの淵に、監視係のように立っていました。現在の名城ビーチは、2021年オープンに向けて大型リゾートホテルの建築中です。坊やは建築現場の片隅で、布に包まれてお休みしていました。ホテルのオープン時には、きれいになって皆を迎えてくれるそうです。



B

2

3 (旧12/29)

・子ども
もちつき

10 (旧1/1)

17 (旧1/15)

24 (旧1/12)

※ 都合

※ サ